

各位

2023年5月29日
総合編成局マーケティング・PR部

社会問題を題材として、読んだ人の心を深く動かした
記事に贈られる「LINE ジャーナリズム賞」の
「23年2月～4月期」で
MBSが取材をした2本の記事が初受賞

LINE 株式会社が社会課題を工夫して伝えた記事を表彰する「LINE ジャーナリズム賞 23年2月～4月期」で、MBSが取材をした2本の記事が受賞しました。

100万本を超える記事の中から計3本の記事が受賞し、そのうち2本はMBSが取材した『【MBS ニュース】「世界を変えて」総理に宛てられた手紙と、命を絶った男子の叫び "13歳の声"に見る『不登校』のいま』と、『【TBS NEWS DIG】「売春してお金もらって。5000円」、「ト一横」や“グリ下”・・・“家に居場所がない”漂流する若者達』の記事です。なお、MBSの受賞は初めてです。

「LINE ジャーナリズム賞」は、2019年から毎年実施されています。「LINE ジャーナリズム賞 23年2月～4月期」は、2023年2月から4月にLINE NEWS上で配信された100万本を超える記事の中から、記事閲覧数やユーザーのアクションなどをベースに、「社会課題を工夫して伝える」という観点に基づき選出されます。

受賞記事の概要と担当者のコメントは下記のとおりです。

【MBS ニュース】「世界を変えて」総理に宛てられた手紙と、命を絶った男の子の叫び "13歳の声"に見る『不登校』のいま

いじめを巡り大人に失望した 13 歳の 2 人の悲痛な叫びを丁寧に紡いだ記事。生前声を上げ続けた大阪の少年、「世界を変えて」と総理へ手紙をしたためた京都の少女を通して、年々増加する「中学生の不登校」のいまを伝えます。

記事はこちら：<https://news.line.me/detail/oa-mbsnews/ye9qap5ygzsm>
(2023 年 4 月 5 日掲載)



松波翔さん(左)と大里芽生さん(右)

<取材をした報道情報局番組センター吉川元基>

MBS のドキュメンタリー「映像シリーズ」で放送した作品を再編集したのが今回の記事です。文字と動画、画像を使いながら、ドキュメンタリーの新たな形に挑戦しました。

記事に登場する2人の 13 歳の中学生は、学校に行きたくても行けない子どもたちです。つらい状況から何とか抜け出して解決したいと思って担任の先生に勇気を出して相談しています。しかし、まともに向き合ってもらえませんでした。大人を信用しようとした分だけ、落胆し、憤り、絶望を感じるようになりました。自らをさらけ出し実名で訴える「13歳の声」が多くの大人に届くことを願っています。

【TBS NEWS DIG】「売春してお金もらって。5000 円」、「トー横」や「グリ下」…「家に居場所がない」漂流する若者達

東京・歌舞伎町の"トー横"や大阪"グリ下"に集う若者たちが直面する厳しい現状や苦悩、痛みを深く切り込んだ記事。防犯カメラの設置や一斉補導で行き場が失われるなかで、それぞれの日々を生きる姿を追います。

※この記事は、MBS 記者が取材して放送した TBS「報道特集」の記事を、JNN28 局でつくる「TBS NEWS DIG Powered by JNN」から LINE NEWS に配信したものです。

記事はこちら：<https://news.line.me/detail/oa-tbsnews/cgpex44qqj56>
(2023 年 4 月 22 日掲載)



"グリ下"で取材をする記者

<取材をした報道情報局報道センター海老桂介>

トー横、グリ下。居場所を求めて、夜の街をさまよう若者たち。そのコミュニティーに、明確なルールやリーダーは存在しない。虐待、いじめ、貧困。似た境遇を持つ者同士が、互いの本名などを明かさないうまま、非常に緩やかに繋がっているのだ。彼らは、緩やかな繋がりの中に身を置き、心の傷を癒し合っているようにも見える。

忘れられない言葉がある。トー横で出会った、16歳の少女の言葉。“今のところ、トー横以外に居場所が見つけられていない。だから、無くなったらどこにも行く場所がない”。少女は、売春で生計を立てていると話した。見ず知らずの男性に身を委ねることに対して、ためらいの気持ちは、徐々に薄れていったという。

大人にできることは何か。排除でもなく、放置でもなく、まずは心の内を“理解すること”から始めてみてはどうだろうか。その一助になれるよう、記者の立場で、これからも若者たちの姿を見つめていきたい。

<インターネットニュース配信を担当する

報道情報局報道センター クロスメディア担当部長 小野智也>

MBSの報道活動が、テレビとともに、スマホで幅広い世代に認められた初受賞を嬉しく思います。1つめの「世界を変えて」は、深夜60分の「映像」ドキュメンタリーを、チーム最若手のディレクターがLINE NEWSに向けて「文字×画像×動画」のメディアミックスに意欲的に挑戦し、その反響から新たな学びを得ました。

2つめの「漂流する若者達」は、令和の若年層と貧困などをみつめ続ける若手記者の取材が、TBS「報道特集」を経て、JNN28局でつくる「TBS NEWS DIG」から配信されました。10代の姿を浮き彫りにした2作品が、閲覧したユーザーの「心を動かし、次のアクションにつながる」きっかけになれば幸いです。

■LINE ジャーナリズム賞について

「LINE ジャーナリズム賞」は、2019年よりLINE NEWSが毎年実施するもので、「社会課題を工夫して伝える」という観点から、記事閲覧数やユーザーアクションなどをもとに特に優れた記事を選出・表彰しています。

良質な記事や書き手がより多くの読者の目に触れる場を設けることで、より質の高いコンテンツが生み出されるサイクルを後押ししたいという思いのもと、2023年は年間賞のほか、4期に分けた表彰を実施しています。

<LINE ジャーナリズム賞についてはこちら>

<https://linecorp.com/ja/pr/news/ja/2023/4576>

<https://note.com/linenews/n/nbe0b7511c474>